

清川村立宮ヶ瀬中学校

研究テーマ：「新しい時代に生きる力の育成」 ～言語能力の育成とICTの効果的な活用～

1 実践の目的

全国学力・学習状況調査の結果から「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」の問いに「当てはまる。」50%と、「どちらかといえば当てはまらない。」が50%とに2分化された。生徒数が極めて少ない本校では、同年代の生徒と接する機会が少なく他者の発言を聞いて自分の考えを深めたり、理解を深化させたりする機会が十分とは言えない。この点を踏まえて、言語能力の育成とそれを補う手段としてのICTの効果的な活用をテーマとして設定した。

2 実践の内容

(1) 校内研究の体制

教務が研究主任を担当し、研究推進委員会は校長、教頭、研究主任で組織する。校内研究会は非常勤を含む全職員で、研究体制を組織する。校内研究会は年10回開催した。その内2回を「研究授業と研究協議」とし、1回を研究テーマに沿った講演会の開催とした。研究協議や講演会では横浜国立大学教育学部教授 梅澤秋久先生をお招きし、県教育委員会、県央教育事務所、清川村教育委員会からも指導助言を頂いた。

(2) 校内研修会

4月17日に「極小人数に対応した評価・評価」校内研修会を行った。指導と評価の一体化や自己肯定感を高める評価につ

いて意見を交わした。

6月12日の校内研修会では、横浜国立大学教育学部 梅澤秋久教授をお招きし、「新しい時代に生きる力の育成」をテーマに講義をしていただいた。時代の変化に対応しながら、生徒たちが自ら考え行動できる力を育むため、どのような力を身につけさせるべきか、学びが多く今後の教育活動に活かしていきたい。



7月31日、清川村教育委員会主催の「ICT教育研修会」に全職員で参加し、タブレットを活用した協働学習の取り組みなど研修した。

(3) 研究授業、研究協議の様子

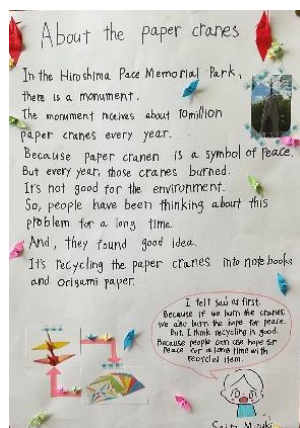
第1回の研究授業では、2・3年の合同英語で「自分の考えや伝えたい思いを他の人にプレゼンする」ことを授業目標にした。内容は、生徒がアメリカの人気番組「American's Got Talent」の中からお気に入りのパフォーマンスを選び、説明するものである。



「なぜそのパフォーマンスを選んだのか」、「どんな魅力を感じたのか」、「他のグループとの違いを分かりやすく伝えるためにプレゼンした。生徒たちの中で、お互いの発表を聞き、アイデアを取り入れ、聞き手を惹きつける話し方についても工夫していた。この協同学習を通して学びを深めていた。

第2回の研究授業

では、2年生1名による英語授業で、「広島に送られる折り鶴と環境問題について書かれた教科書の内容をまとめて表現し、その中で感じた自分の思いを伝えるポスターを作成」を授業目標に行った。ポスター作成に向けて自分の思いをメモし、そのメモを元に英語表現の中から適切なものを選び、精度を高めた。この過程により、語彙力や文法力を向上させるだけでなく、より柔軟に考えることで、効果的に考えを伝える方法を学んだ。



3 実践の成果

(1) 教師の変容

どちらの授業においても ICT を積極的に活用したため、具体的に効果的な ICT の活用方法を学ぶことができた。また、本校は生徒数が少ないため、個々の特性に応じた指導が可能であり、それぞれの生徒に適したアプローチを取ることができる点が大きな

強みである。他教科の授業を参観することで、特定の生徒に対してどのような指導が行われているのかを学び、指導方法に関する新たな視点を得ることができた。

(2) 生徒の変容

生徒間でプレゼンを作り上げていく過程で、言語としての英語の認識が高まったように感じた。生徒と生徒、生徒と教師(T2)の協働学習を通じて、英語で表現する楽しみを得たようである。また教師(T1)による英語のみでの授業展開により、生徒のリスニング能力の向上と、英語の抵抗感の軽減に寄与した。生徒が英語で表現するのが難しい時、「Japanese OK?」と確認し、日本語と英語を混ぜて話そうとする姿勢が見られるようになった。答えが一つではない課題を設定することで、生徒たちは自分の意見に自信を持ちながら、柔軟に思考し、他の生徒の考えを受け入れる態度が見られた。

4 今後の展開

(1) 今後の研究の方向性

極小規模校における効果的な協働学習の進め方を追究するとともに、生徒の言語能力の育成や ICT 機器を活用する協働学習の展開など追究していきたい。

(2) 残された課題への対応

言語能力は一朝一夕で身に付くものではなく、特定の教科や活動だけで習得できるものでもない。そのため、学習指導要領に示されているように、各教科における言語活動を意識的に充実させる取り組みが必要である。今後も、各教科において取り組んでいきたい。